

## 博報堂生活総合研究所 生活動力2012

これからの新しい人とのつながりは、  
テーマや目的のもと、幅広い人達が自発的に集まる

# 「圏づくり」へ

- 圏を持つ人は 2 人に 1 人。
- 圏は 13.4 人の幅広い人達の集まり・つながり。
- 圏を持つ人の幸福度は 76.8%。

東日本大震災後、絆、利他、がんばろうなど、人とのつながりが注目を集めました。こうした生活者の集まり・つながりについて、博報堂生活総合研究所で調査したところ、これまでの縁、ネットワーク、コミュニティとは異なる、新しい集まり・つながりが生まれていることがわかりました。当研究所が毎年、年末から年始にかけ、生活の未来予測を発表する「生活動力」では、「テーマがある」「オープンである」「流動的である」という新しい集まり・つながりを「圏」と呼び、それを創り出す人々の行動を「圏づくり」と名付けました。今後、既存の枠組みを超えた、人々による主体的な新たな生活圏の再編が進むと思われます。本リリースでは、どれぐらいの生活者が「圏」を持つのか、「圏」はこれまでの集まり・つながりとどう違うのかについて、ご報告いたします。

(以下、博報堂生活総合研究所「圏の構造調査」より)

### ① 圏を持つ人は 2 人に 1 人

調査上、圏の定義を「自ら創ったり関わったり、もしくは自発的にそこにいる人と何らかの体験をともにする、テーマや目的を持った集まりや人とのつながり」として、その有無を質問したところ、圏を持つ人は、47.6%でした。圏を持つ人のうち、今後、圏を「増やしたい」人は全体の20.5%。また、圏を持たない人のうち、今後、圏を「持ちたい」人は28.9%。これらを足し上げた、圏を「増やしたい／持ちたい」人は49.4%。ほぼ2人に1人が圏の拡張意向を示しています。

### ② 圏は 13.4 人の 幅広い人達の 集まり・つながり

ひとつの圏の構成人員は平均13.4人。そこには、性別、年代、地域、職業などを超え、幅広い人達が集まっています。また、圏のテーマは、地域再生や社会貢献などの「かたい」ものから、趣味や娯楽に関する「やわらかい」ものまで多種多様。また、圏の44.1%で「自分の持つ能力やスキル、仕事での専門性などが活用」されています。多種多様な圏の持つテーマがそこにいる人々の力を引き出しています。

### ③ 圏を持つ人の 幸福度は 76.8%

圏を持つ人は、「自分のことを幸せだと思う」割合が76.8%と高く、圏を持たない人(61.3%)を15.5ポイントも上回ります。また、圏を持つ人は、圏のテーマや目的のために無理のない等身大のアクションを行い、その結果、大きなチカラを得ています。こうしたチカラが、人々を幸福へと導いているようです。

本件に関する  
お問合せ先

株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所  
株式会社博報堂 広報室

吉川・夏山  
山野・藤井

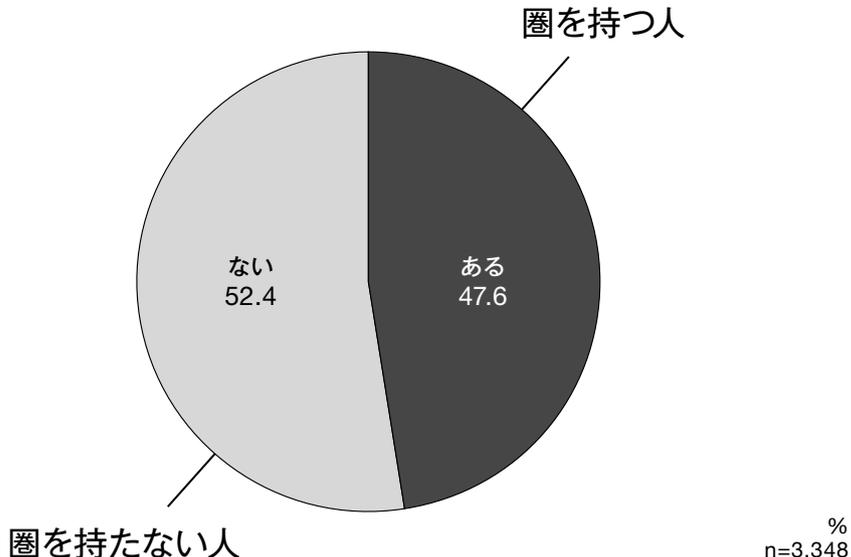
TEL:03-6441-6450  
TEL:03-6441-6161

# ① 圏を持つ人は、2人に1人

テーマや目的のもと、幅広い人達が自発的に集まる「圏」を持つ人は、2人に1人います。

東日本大震災後、2011年5月に実施した「臨時生活定点」調査では、生活者が個として自律しながら、他者と連帯しようとしていることがわかりました。こうした新しい集まり・つながりを読み解くために、さらに2011年10月に実施した「圏の構造調査」で圏の定義を「自ら創ったり関わったり、もしくは自発的にそこにいる人と何らかの体験をともにする、テーマや目的を持った集まりや人とのつながり」として、その有無を質問したところ、圏を持つ人は、47.6%でした。

Q あなたには、「自ら創ったり関わったり、もしくは自発的にそこにいる人と何らかの体験をともにする、テーマや目的を持った集まりや人とのつながり」がありますか。



今後、圏を「増やしたい／持ちたい」人も2人に1人です。

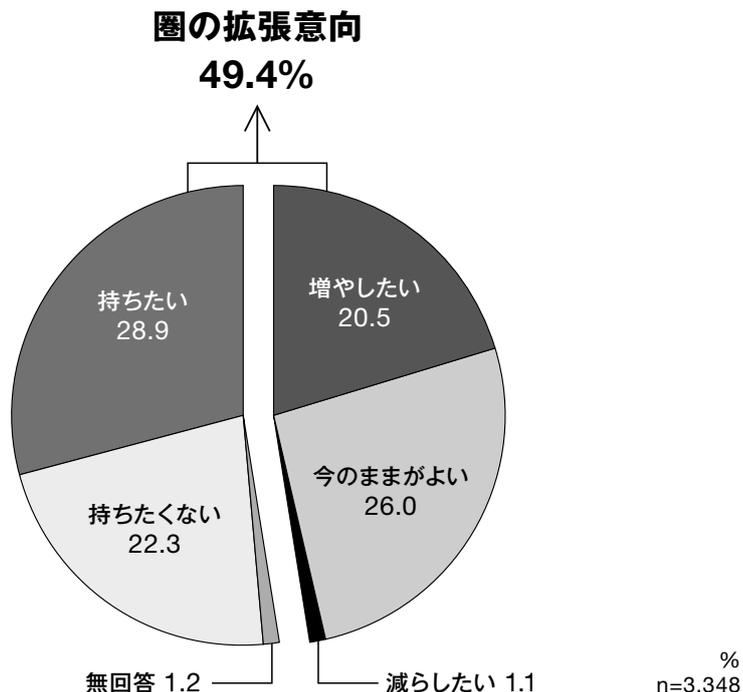
今後の圏への意向を、圏を持つ人には“増減”意向、圏を持たない人には“所有”意向として質問したところ、圏を持つ人のうち、今後、圏を「増やしたい」人は全体の20.5%。また、圏を持たない人のうち、今後、圏を「持ちたい」人は28.9%となっています。これらを足し上げた、圏を「増やしたい／持ちたい」人は49.4%。ほぼ2人に1人が圏の拡張意向を示しています。

圏を持たない人には“所有”意向を質問

Q あなたは、「自ら創ったり関わったり、もしくは自発的にそこにいる人と何らかの体験をともにする、テーマや目的を持った集まりや人とのつながり」を今後持ちたいと思いますか。

圏を持つ人には“増減”意向を質問

Q あなたは、既にお持ちの「自ら創ったり関わったり、もしくは自発的にそこにいる人と何らかの体験をともにする、テーマや目的を持った集まりや人とのつながり」を今後増やしたいですか。



※圏の所有者と非所有者で異なる質問をしているが、ここでの数値は、全体ベースで集計したもの。

## ② 圏は 13.4 人の幅広い人達の集まり・つながり

### テーマへの興味・関心で、平均 13.4 人の幅広い人達が集まっています。

圏を持つ人に「あなたの圏は、どれくらい的人数から構成されていますか」と質問したところ、ひとつの圏の構成人員は、平均**13.4**人。そこには、性別、年代、地域、職業を超え、幅広い人達が集まっています。

### 圏のテーマは「かたい」ものから「やわらかい」ものまで、多種多様です。

圏のテーマは、趣味や娯楽などの「やわらかい」もの、地域再生や社会貢献などの「かたい」ものまで多種多様。若年だから「やわらかい」、中高年だから「かたい」といった偏りもなく、老若男女が自由に圏へ参加しています。

### 多種多様なテーマは、圏に集まる人々の能力を引き出しています。

多種多様なテーマを持つ圏の**44.1%**で、「自分のもつ能力やスキル、仕事での専門性などが活用」されています。高度な専門性や難解な知識だけではなく、特技や個性、過去の経験など幅広い才能や資質が活用されています。

Q 圏を構成している人たちの性別、年齢、居住地などの特徴を教えてください。

- 下は10代から、上は40代ぐらい、居住地は日本全国、韓国の方もいる。性別もバラバラ。  
(ネットゲームのコミュニティ・23歳男性・熊本県)
- 40～60歳、宮城・埼玉・東京・山口・長野など全国的。  
(好きなアーティストを応援するファン友・48歳女性・長野県)
- 東京から九州に住む男女。  
(バンクーバーで将来暮らしたい人の集まり・31歳男性・福岡県)

Q 圏のテーマや目的、行われていることは何ですか。

#### かたいテーマ

##### 青少年意識調査の集まり

現代社会で問題とされていること、流行していることに対して意見を述べる。  
(25歳女性・東京都)

##### 自然エネルギー促進のNPO ボランティア

太陽光発電を含む自然エネルギーの普及促進のため、イベントの開催や会員勧誘活動を行う。  
(48歳男性・愛知県)

##### 宇宙メダカの飼育の報告連絡の集まり

地球を236周もしてきたメダカを純潔のまま維持して、育てていこうという集い。  
(63歳男性・京都府)

#### やわらかいテーマ

##### カロリー会

高校生の女子がカロリーの高いものをひたすらたくさん食べる会。  
(18歳女性・愛知県)

##### マジック講座

マジックの楽しさに触れるとともに、マジック技術の向上を目指す。  
(38歳男性・兵庫県)

##### ハーレーの走行(タンデム)の会

みんなで一緒に走り、親睦会をする。その様子をWEBに掲載している。  
(64歳女性・神奈川県)

Q 圏では、どんな能力やスキル、専門性などを活用されていますか。

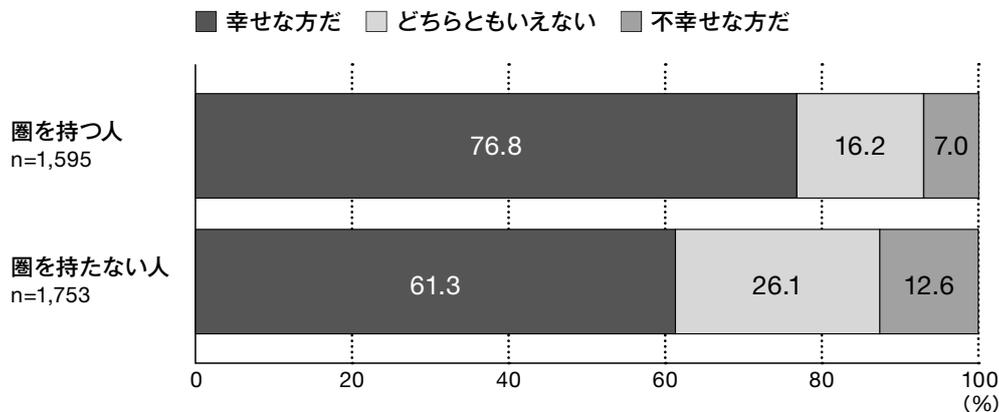
- 手先の器用な私が手芸作品の細かなところを担当している。  
(小物を手作りする集まり・43歳女性・神奈川県)
- 言いたしっぺで盛り上げ役な私の性格を活用している。  
(高校時代の友人と悩みや進路を語る会・21歳女性・大阪府)
- 豊富な旅行経験を活かして、コストパフォーマンスの良さが最大限になるように遊びを企画している。  
(ベトナムの関連会社の人達と遊ぶ集まり・63歳男性・千葉県)

### ③ 圏を持つ人の幸福度は76.8%

圏を持つ人の幸福度は高く、圏を持たない人を15.5ポイントも上回ります。

圏を持つ人は、「自分のことを幸せだと思う」割合が76.8%と高く、圏を持たない人(61.3%)との差は15.5ポイントにもなりません。

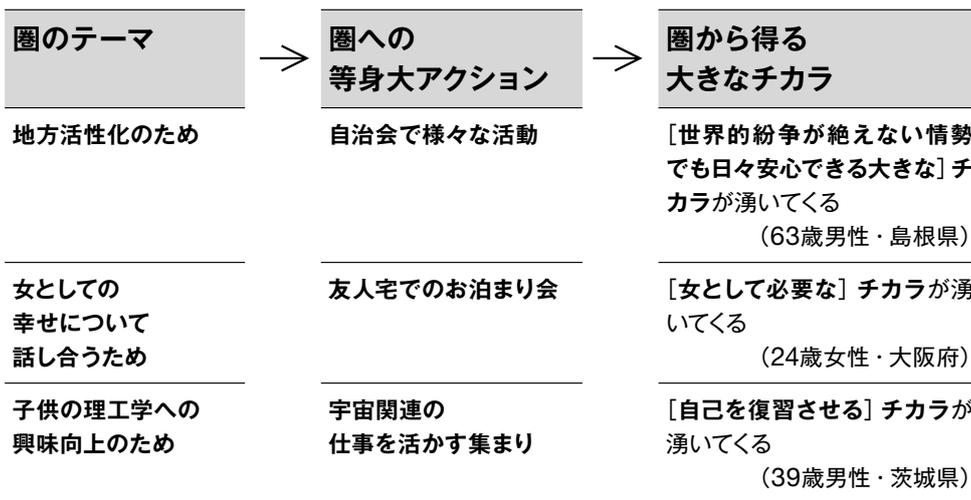
Q あなたは、自分のことをどの程度幸せだと思っていますか。



「圏づくり」の結果、大きなチカラを得ることで、圏を持つ人々は幸福を感じているようです。

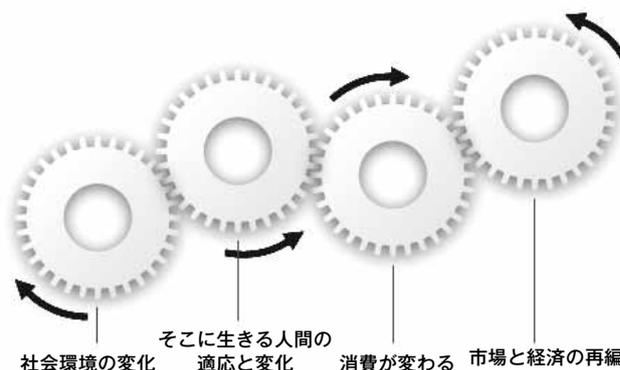
圏を持つ人にとって、大切な「集まりや人とのつながり」はどんなチカラが湧いてくるのかを質問したところ、圏のテーマや目的のために、無理のない等身大のアクションを行うことで、大きなチカラを得ていることがわかりました。こうしたチカラが人々を幸福へと導いているようです。

Q 以下の文章の空欄を埋めて、文章を完成させてください。  
私にとって大切な「集まりや人とのつながり<sup>(※)</sup>」は、[ ]チカラが湧いてくる。  
(※) 別途質問で回答してもらった大切な「集まりや人とのつながり」をインターネット画面上に表示して質問。



## 「生活動力」とは

人口動態や経済の浮沈、技術革新など、様々な時代のインパクトを受け、生活者は常に変化を繰り返していきます。人は社会的インパクトへの適応性と弾力性を持った生き物です。変化する環境の中で、自らの意志と欲求により暮らしを改編していきます。そのことが新たな消費市場を生み出します。生活総研では、こうしたダイナミクスを「生活動力」と呼び、毎年、年初にその発表と提言活動を行っています。





**書籍 [生活動力 2012] 発行のご紹介**

### 「Uzumakuri」 私が生きる場 私を活かす場

発行日：2011年12月15日  
 サイズ：213×155×82mm (3点ボックス入り)  
 内容：●「本編」A6カード・127枚・リング留め

<p><b>総論編</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Uzumakuri」の背景</li> <li>・「Uzumakuri」の特徴</li> <li>・「Uzumakuri」の未来</li> <li>●「2012年を読み解く生活者地図」A2</li> <li>●「Uzumakuri」の構造」調査データについてのお知らせ A6</li> </ul>	<p><b>キーカード100</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会変化を象徴する30の数字</li> <li>・「Uzumakuri」に向かう人々の20の気持ち</li> <li>・「Uzumakuri」が生み出す50の風景</li> </ul>
--	---

価格：8,400円(税込)  
 発行所：株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所  
 書籍案内およびご購入について <http://seikatsusoken.jp/publication/>

## 参考：「Uzumakuri」が生み出す風景

※書籍 [生活動力 2012] 内、「Uzumakuri」が生み出す50の風景より

### 別との訣別

男女別、年齢別、未既婚別。人々の生活を規定してきた「別」が消えつつある。消えつつあるのだから、力んで乗り越える必要はもはやない。かつての「男の料理」と、今時の「弁当男子」の違いのように、これまでの「別」にこだわらず、自分がいいと思うことをするのだ。

### 恋愛圏が変わる

異性とのルームシェア、ボランティアを通して知り合った東北人と東京人のカップル、同じ相手と離婚・結婚を何度も繰り返すカップル、離婚した後も元妻不在で義両親と同居生活を続ける男性。これは、すべて実際に起きていること。新しい男女のカタチが出現している。

### 「代」 超え関係

世代を超えてカップルになる、「年の差婚」。時代を超えて戦国武将のオッカケに熱中する若き「歴女」。年代を超えて料理情報を交換するレシピ・コミュニティ・サイト。暮らしの現場では、世代、時代、年代を超えたつながりが増殖中だ。人々の興味関心は、縦横無尽に関係を編集していく。

### 雑居ベンチャー

仕事は全く異なれど、席を隣にするシェアオフィスが話題だ。企業とフリーランスの間にある異質な個人がつながる場をつくり、そこから新ビジネスを創発しているケースもある。住居で、教室で…職場以外でも異質同士の雑居が進めば、新アイデアは次々と生まれる。

### 隊衆化

震災は、目的に応じて瞬間瞬間でフォーメーションを組む《隊衆》を生み出した。ガソリン節約のためメールで調整し駅からの“自前乗合タクシー”を出動させるご近所同士や、健康増進と防災学習を兼ねて避難所を巡る団体など。目標達成のためにプロジェクト・ベースで連なる人々が増えている。

### 孤育てからシェア子育て

母ひとりの「孤育て」ではなく複数家族がつながる「シェア子育て」が拡大中。ツイッターで「いま子どもがギャン泣き中」「うちも！」と交わるツイママ。昼食はみんなで持ち寄り食費を浮かし休日も一緒に遊ぶ新・大家族も生まれている。新家族の誕生で新市場もできそうだ。

## 「圏の構造調査」調査概要

- 調査地域 全国 47 都道府県
- 調査手法 インターネット調査
- 調査対象 15 歳から 69 歳までの男女 3,348 人  
※ 全国を 8 地区に分割し、エリア別人口構成に応じて割付。  
※ 性年代は 10 歳刻みで均等割付。ただし、10 代は 15 歳～19 歳のため、その約半分。  
 男性 1,674 人 (10 代男性 154 人、20 代～60 代男性 各 304 人)  
 女性 1,674 人 (10 代女性 154 人、20 代～60 代女性 各 304 人)

地区	内訳	
北海道	北海道	154
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県	232
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県	1,144
中部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県	606
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県	550
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県	198
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県	100
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	364
合計		3,348

- 調査時期 2011 年 10 月 14 日 (金) ～ 17 日 (月)
- 企画・分析 博報堂生活総合研究所
- 実施・集計 株式会社 マクロミル

## 参考：「圏の構造調査」レポートの概要

人々が自発的に創っているこれからの新しい集まり・つながりに関する分析レポートです。本レポートでは、どのくらいの生活者が圏を持ち、それがどのような特徴なのか、また圏を持つ人のプロフィールなどについて、調査からの数量的な分析と人々の生の声をご紹介します。

### 圏の特性

1. 圏は、幅広い人達が集まる平均 13.4 人の場
2. 圏は、テーマが多種多様
3. 圏は、4 割以上の人で能力を発揮させる
4. 圏は、3 割のネットサービス活用度
5. 圏は、活発な消費を生み出す

### 圏を持つ人のプロフィール

1. 圏を持つ人は、フットワークかるがる
2. 圏を持つ人は、えらび上手
3. 圏を持つ人は、多チャンネル名人
4. 圏を持つ人は、人を惹きつけ、話題を拡げる
5. 圏を持つ人は、ひとりも一緒に自信あり
6. 圏を持つ人は、圏が生み出すチカラで幸せ

※詳細は「圏の構造調査」レポートをご覧ください。

※レポートは、こちらの URL からでもダウンロードできます。 [http://seikatsusoken.jp/publication/detail.php?a\\_id=3258](http://seikatsusoken.jp/publication/detail.php?a_id=3258)